

魔法のことば

日立市立豊浦中学校 一年

武笠 むかき

那皇 なお

以前、母と話しをしていた時、僕が保育園に通っていたころの話しをしてくれました。

僕は、近所のスパーで、大きな荷物を持っているおばあさんを手伝おうとして、声をかけていたと聞きました。

昔は、自分から声をかけ、荷物を持ってあげようとする事ができたのに、いつの間にかその様な事が出来なくなっていることに気が

付きました。

なぜ、あのころの様に、役に立ちたいと思っても行動に移せないのでしょうか。

そう、はずかしくて勇気が出ないのです。助けてあげたいとは思いますが、勇気が出ずに、なかなか声に出せません。

そんな時、スーツを着た男の人が、電車でおばあさんに席をゆずってあげている所を見かけました。

僕は、その出来事を見て、とてもすごいと

思い、僕はこの男の人の様に席をゆずれれる優しい人になりたいと思うようになりました。もしチャンスがあつたら、今度こそは勇気を出して、自分から声をかけて席をゆずってあげようと心に決めました。

次の日、塾に行く途中の電車で、おじいさんを見つけてしまったが、席が空いていたので、ゆずることができませんでした。

次の日には、お年寄りの方が乗ってこなかつたので、また席をゆずれませんでした。

しかし、その次の日、チャンスがやってきました。僕が乗っている車両に、おじいさんが乗ってきました。この日は混んでいたのにおじいさんはキョロキョロしながら僕の方に歩いて来ました。

そこで僕は心を決め、立ち上がり「この席どうぞ」  
と言うことができました。

「坊や、ありがとう」  
と、おじいさんはとてもうれしそうに笑顔で

答えてくれました。

おじいさんのうれしそうな笑顔を見て、僕もすごくうれしくなりました。

僕はその日から、人に優しくする事は、とてもうれしい気分になれる事を知りました。

この日は僕にとって、とてもすばらしい一日になりました。

「このせきどうぞ。」

この七文字は、言えた方もうれしくなり、言ってもらった方も、うれしくなる「魔法のこ

とばし」だと思いました。

僕にとって、ステキな言葉です。

僕は、母が話してくれた小さなころの様に、お年寄りの荷物を持ってあげたり、席をゆずってあげたり、人の役に立つ優しい人になれる様に、勇気を持っていきたいと思います。